

2022/2/25 (Fri.) 第134号

日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース
— 発行所 —
日本医師連盟
東京都文京区本駒込6-12-1
SSかごまち301号室
〒113-0021
TEL: 03-3947-7815
FAX: 03-3947-2662
E-mail: info01@nichiren.jp

<http://www.nichiiren.jp/>

定価 1年400円 (但し日医連負担金に含む)

日医連 執行委員会を開催

令和2年度収支決算、 令和4年度負担金基準額を承認

中川日医連委員長挨拶

執行委員会は、釜淵敏常任執行委員の司会で開会し、はじめに中川俊男委員長が以下のように挨拶した。

「はじめに、永年、日本医師連盟の活動にご尽力いただいた福岡県医師連盟委員長の松田峻一良先生が、残念なことに、去る一月七日にご逝去された。お悔やみ申し上げるとともに、謹んで哀悼の意を表する。現在、新型コロナウイルス感染症は、新たな変異株『オミクロン株』による感染が拡大している。国民はコロナ禍において通常とは異なる生活を強いられている。



挨拶する中川委員長

日本医師連盟は、1月25日に新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、テレビ会議で執行委員会を開催した。「令和2年度収支決算報告」「令和4年度負担金基準額」「参議院選挙(自見はなこ選挙)」について審議を行い、承認および決定した。



テレビ会議の様様

七月に行われる参議院議員選挙で全国比例区への出馬を表明している自見はなこ参議院議員(日本医師連盟推薦)は、一月十四日に全国医師国民健康保険組合連合会(以下、全医連)と政策協定を結び、五項目(別掲)に合意した。これを受け、全医連は、自見議員の政策活動の支援に一致団結して取り組むものとした。一方、自見議員も全医連からの要望に応え活動していくことを表明した。

組織内候補として決定し、鋭意支援活動を展開している。今後の活動期間はおよそ五カ月である。新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の集会といった活動ができないので、今後は、サポーター名簿の獲得や、LINE等SNSの活用も含めて会員等の関心を高めていかなければならない。いずれにしても、都道府県、郡市区の医師会(連盟)組織と連携し、会員へのアプローチを徹底させ、組織固めをすることが重要である。日医連としての活動はもとより、都道府県医師連盟、郡市区医師連盟が一丸となって、参議院選挙に向けて自見先生の支援活動を大いに盛り上げていただくよう何とぞよろしくお願い申し上げる。先ほど、常任執行委員会を開催して、本日ご提案申し上げる議事等についてのご承認をいただいた。ご承認いただきたい議事は、『令和2年度日本医師連盟収支決算報告』について、『令和4年度日本医師連盟の負担金基準額について』『参議院選挙について』の三点である。

引き続き議事に入り、中川委員長が議長となり、まず、令和2年度日医連収支決算については、小林博会計責任者が収支内容の説明と報告を行った。その際、令和2年度においても過年度負担金が発生していないことが報告され、関係者の協力に感謝の言葉を述べた。

これを受けて、嘉数研二会計監督者より、会計監督者が一月十七日に会計監査を行った結果、収支は適正妥当であり帳簿記載も的確に処理されていることを確認したとの報告があり、

(2面へ)

自見議員、 全医連と政策協定締結



- 一、国民皆保険制度を堅持するとともに、国民間で医療・介護の享受に格差が生じないように、国民医療の更なる充実・強化を図る。
- 一、健康寿命を延伸し、社会保障の充実により国民不安を解消するため、必要な財源を確保することに務める。
- 一、地域医療を支える医師国民健康保険組合への、国庫補助は適正に行われるようにすること。
- 一、保険者に対して、高齢者医療制度への拠出を安易に求めないこと。そのためにも、社会保障費への国庫負担を増やすこと。
- 一、国民皆保険制度を崩壊させかねない超高額薬剤については、新たな財源を確保するほか、一定額以上の医療費に対しては、国庫補助を増額すること。

令和2年度収支決算について

どうか円滑な議事運営のためにご協力をよろしくお願い申し上げます。

(1面より)
令和二年度収支決算は承認され
た。

負担金基準額は昨年度
と同額に決定

次に、令和四年度の負担金基準額について、今村聡副委員長が「昨年度と同様に連盟会員一人あたり二万円とさせて頂いたきたく、ご承認をお願いしたい」と提案した。

審議の結果、令和四年度負担金基準額は原案どおり承認され、決定した。

参議院選挙について

続いて、「参議院選挙について」に入り、出席した羽生田た



挨拶する自見参議院議員

かし、自見両参議院議員がそれぞれ挨拶した。まず、羽生田議員は参議院選挙に関連し、「七月には参議院選挙がある。先生方にとって

挨拶する羽生田参議院議員



は新型コロナウイルスは新型コロナウイルスとの闘いのなかで大変お忙しい毎日だと思いが、ご協力、ご支援賜りたい。とくに今回、政府の方針としてご家庭庁が新設されることになったが、これは自見議員の発案で与党としてつくる所をまで行き着いた。庁として体をなす

まで、自見議員にはしっかりと活躍をしていただきたい」と述べた。次に自見議員は、「先生方におかれては新型コロナウイルスのオミクロン株への対応や、ワクチン接種の三回目、子どもたちへのワクチン接種など、さまざまな新しい課題があるなかで、参議院選挙を迎える。日常の業務とコロナ対策に取り組んでいただきながらの連盟活動になるが、日医連として今回の選挙に勝つことは、非常に大事なことで考えている。選挙までおよそ五カ月と大変日が迫ってきているので、全身全霊で取り組んで参りたい」と述べた。続いて議事に入り、釜沼常任執行委員が、「七月予定の参議院選挙に向けて、自見先生の本格的な支援活動(後援会活動)が行われている。都道府県医師連盟、郡市区医師連盟の皆さまに具体的なお願いをして、ご協力を賜りたい。選挙の日程については、正式ではないが、投票日は七月十日(日)」といわれている。選挙が始まるまで、およそ

令和2年度日本医師連盟収支決算報告書

I. 期間収支計算書(令和2年4月1日～令和3年3月31日) (単位:円)

収入		支出	
科目	収入累計	科目	支出累計
負担金	965,218,000	経常経費 (A)	79,134,773
(当年度分)	(965,218,000)	①. 人件費	68,020,718
(過年度分)	(0)	②. 光熱水費	550,664
特別会費	0	③. 備品消耗品費	4,540,515
寄付金	0	④. 事務所費	6,022,876
その他収入	14,616	政治活動費 (B)	604,613,741
繰越金	915,909,549	①. 組織活動費	55,771,366
		(イ. 組織対策費)	(9,490,916)
		(ロ. 交際費)	(36,674,480)
		(ハ. 渉外費)	(9,605,970)
		(二. 行事費)	(0)
		②. 選挙関係費	500,000
		③. 機関紙誌の発行その他の事業費	33,086,114
		(イ. 機関紙誌の発行事業費)	(32,976,114)
		(ロ. 宣伝事業費)	(110,000)
		④. 調査研究費	154,261
		⑤. 寄付交付金	515,102,000
		(イ. 寄付金)	(307,900,000)
		(ロ. 交付金)	(207,202,000)
		支出計 (A + B)	683,748,514
		剰余金	1,197,393,651
合計	1,881,142,165	合計	1,881,142,165

(注) その他の収入は銀行預金利子等

II. 貸借対照表(令和3年3月31日現在)

	借方		貸方
普通預金	785,824,108	剰余金	1,197,393,651
当座預金	5,470,814	負担金未収入金	0
定期預金	400,000,000		
現金	6,098,729		
負担金未収入金	0		
合計	1,197,393,651	合計	1,197,393,651

(注) 負担金未収入金の総額 0円 (令和3年3月31日現在)

参議院選挙について説明する
釜沼常任執行委員

「次第、随時申請いただきたい」と述べた。そして、「サポーター名簿の獲得」「LINE友だちの登録」「広報物の活用」「投票方法の周知徹底」「関連団体や企業への推薦依頼」「ソ

五カ月しかないのに、全国の医師会(連盟)が一丸となって、自見先生の支援に徹していただきたく、重ねてお願い申し上げます」と述べた。また、参議院選挙の選挙区選挙については、「各

都道府県医師連盟において、日医連の推薦を必要とする候補者がいらっしゃれば申請をお願いする。選挙区候補者の擁立が決まっていらない選挙区もあるので、推薦申請の締切日は設けていないが、決まり次第、随時申請いただきたい」と述べた。

日医連常任執行委員会

当日、執行委員会に先立ち、テレビ会議で日医連常任執行委員会を開催した。議事「令和二年度日本医師連盟収支決算報告について」「令和四年度日本医師連盟の負担金基準額について」「参議院選挙について」それぞれ審議を行い、承認された。承認された議事は、その後開催された執行委員会で審議が行われ、承認された。

執行委員会の風景



自見先生からのご寄稿いただきました

参議院議員 自見はなこ 活動報告

「国民医療の発展に向けて」



日本医師連盟の先生方におかれましては、平素より温かいご指導とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルスのオミクロン株による感染者数増加が著しく、通常医療も含む医療提供体制の維持、自宅待機者の健康観察、ワクチン接種など献身的にご尽力いただいている先生方に最大限の敬意を表します。このような状況であるからこそ、組織代表として国会に議席をいただいていることの重みを痛感しております。政府に対しても、医療現場の実態を踏まえた施策がとられるよう、声を大にして訴えて参ります。

り、使命感と責任感で身を引き締まる思いです。二〇一六年に国会に送っていただいていた先生方の応援をいただきつつ取り組んできたさまざまな政策分野で、いよいよこれから成果が表れ始める時期でもあります。二〇一八年の議員立法以来、成育基本法の課題であった行政組織のあり方の見直しについて、このご家庭「一」設置法案が今国会で審議され、二〇二三年度の設置が目指されています。二〇二四年からの医師の時間外労働規制適用開始を前に、スチューデントドクターの法制化やタスクシフト・シェアについて定めた医療法等の改正が昨

年成り、地域医療を守りつつ過重労働を防ぐため、働き方改革施行に向けた問題点洗い出しの議論も本格化して参ります。HPVワクチンの積極的勧奨再開も、来年度から実現することとなりました。9価ワクチンの定期接種化や、男性への接種が今後の課題です。難聴対策も、新生児期・小児期の難聴対策で大きな予算獲得が実現し、認知症対策、適切な補聴器へのアクセス拡大など自治体レベルでの取り組みが始まり、全国展開に向けてさらに後押しが必要で

ローしていかねばなりません。コロナの教訓を活かした今後の新興感染症対策も、医療政策上の最重要課題の一つです。第二十六回参議院議員選挙に向けては、自民党から約十人の医療系候補者が比例区から立候補予定であり、激戦が予想されます。日本維新の会の躍進など、自民党の獲得議席数が減る可能性もあります。さらに、政党名ではなく個人名を書かなければその候補者の得票にならないという参議院比例区の選挙制度の周知も必要です。

引続き先生方のお声を国に届ける役割を担い、目下の課題である新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、数多くの分野で政策の継続性をもって取り組むべきです。昨年十二月三十一日に臨時的に引き下げが行われたPCR検査千八百点(委託)・千三百五十点(委託以外)が七

百点に、抗原検出検査六百点が三百点(定性)・五百六十点(定量)になるなど、現場への影響が非常に大きい引き下げです。PCR検査キットが数千円するほか、人件費、PPEや消毒液などの感染対策に要する費用もあり七百点や六百点ではとてもやっていけない状態です。国の方針として検査の価格を下げて拡充をはかるのであれば、診療報酬よりも先に検査キットの価格を下げなければ、医療機関では検査をやりたいけれどもできないという状況になってしまいます。現場が非常に困っているということを山際大臣に伝

え、見解を伺いました。山際大臣からは、現場で起きていることをしっかりと把握し、後藤茂之厚生労働大臣に伝える旨のご答弁をいただきました。社会経済活動を回していくことは、感染を収められるかに懸かっているため、後藤大臣に伝えるにとどまらず、しっかりと最後まで調整いただくよう強く要望いたしました。

小児へのワクチン接種について質問

議院運営委員会では、小児へのワクチン接種についても質問しました。三月から、五十一歳の小児に対する新型コロナウイルスワクチンの接種が予定されており、厚生労働省などさまざまな関係機関で準備が進められています。こどもの感染や家庭内感染を抑えるためのワクチン接種ですが、接種推進のためには単価設定の見直しが必要ではないかという問題意識で、山際大臣に見解を伺いました。

ワクチンの単価は、基本の二千七十七円に加えて、營養保健権以来続く支援策として、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金による多数回接種を行う医療機関への上乗せがありま

第26回参議院議員選挙に向けて

日本医師連盟から推薦決定をいただいた第二十六回参議院議員選挙が、いよいよ本年七月に迫って参りました。このコロナ禍で、医療現場の声を最も国に届けなければいけないタイミングで改選期を迎えることにな

神田医師会(東京都)を訪問し、会員の先生方とオンラインで懇談

も、被扶養者に国内居住要件を盛り込んだ健康保険法の改正や、医療費未払い歴がある外国人の再入国審査の厳格化が実現して適正化が進んだほか、訪日外国人への多言語対応等の予算が大幅に獲得でき、コロナ後を見据えた海外との往来再開や水際対策についてしっかりとフォー



1月18日 自民党女性局政策ミーティングでHPVワクチンをテーマに三原じゅん子参議院議員を講師にお迎えして



1月22日 三重県医師連盟総決起大会



1月22日 愛知県で開催された東海青年医学会で講演



参議院比例区の投票方法について、ご周知方お願い申し上げます



2月3日 参議院議院運営委員会にて山際大志郎内閣府特命担当大臣に質問



2月7日 東京産婦人科医会、東京都の地方議会議員と産後健診・産後ケアに関する勉強会を開催



2月8日 日本防災士会による野田聖子内閣府特命担当大臣表敬訪問。防災分野での女性活躍を報告



2月4日 日本精神科病院協会山崎学会長と対談



2月3日 難聴対策推進議員連盟事務局長として神尾記念病院（東京都）視察

現場が相当で苦勞されているといふことを認識して、どう報いていくか、後藤大臣と連携して対応していく旨のご答弁をいただきました。



島村大厚生労働大臣政務官への要望申入れ

その結果、二月二十一日付厚生労働省健康局健康課予防接種室から自治体宛の事務連絡「5歳以上11歳以下の者への新型コロナウイルスワクチン接種に向けた接種

お声を講演いただきました。議連総会終了後、堀内詔子ワクチン接種推進担当大臣、島村大厚生労働大臣政務官への要望書提出も行い、必要な支援を求めました。



「ドクターヘリ推進議員連盟」として後藤茂之厚生労働大臣に要望



「カトレア会（医療系議員の会）」として岸田文雄内閣総理大臣に申し入れ

先生方におかれましては、新型コロナウイルス感染症の対応をはじめすべての疾患に対応し、地域医療をお支えいただいておりますことに感謝と敬意を



北海道医師会「理事会」にて挨拶・松家治道北海道医師会長と意見交換



「有床診療所の活性化を目指す議員連盟総会」にて司会を務めました

表するとともに、寄稿のご配慮をいただいております中川俊男日本医師連盟委員長をはじめ関係各位に感謝申し上げます。



福田達夫自民党総務会長と意見交換



山梨県医師会「理事会」にて挨拶・今井立史山梨県医師会長と意見交換

た日本の医療提供体制では、想定していなかった感染症への対応に厳しさを感じております。



自民党「厚生労働部会」として視察（国立感染症研究所）



自民党「厚生労働部会」として視察（国立国際医療研究センター）

また、濃厚接触者の定義やそれに付随し待機期間等の政府の方針が揺れることで現場が混乱しているという声もいただきました。



自民党社会保障制度調査会医療委員会「医師の働き方改革の施行に関するPT」にて



自民党参議院「政策審議会勉強会」にてヒアリング（日本医師連盟・四病院団体協議会）

ありますが、現場は振り回されているというのが実情であり、その現場が地域医療を支えていることを理解したうえで政策を進めなければなりません。

羽生田 たかし 活動報告

参議院議員／自民党厚生労働部会長代理

羽生田先生からご寄稿いただきました



体制の準備について（その4）が発出され、「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業」の対象経費として、自治体が行う保護者等からの事前相談等への対応や、医療機関が行う保護者への説明や年齢に応じた

わかりやすい説明、接種介助、母子手帳への記入、同行した子どもの世話等に要するから増し経費が明示されました。

「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業」の活用を自治体に働きかけていただきますようお願い申し上げます。

いる医療機関は発熱外来としてカウントされていないだけでなく、補助金もないなかで懸命に診療しご苦勞を強いられているという現実があります。しかし、医療機関名を公表すれば他地区からの患者が許容範囲を超し、かかりつけの患者すら診られなくなるのが想定できる状態で、現実の医療現場にそぐわない、行政の考えるコロナ対応には疑問を感じてなりません。

今後の「医師の働き方改革」についても国での議論と地域の医療実情とが違ってくるのが容易に想定されます。しかし、医療は地域におけるセーフティネットであり、一度壊れてしまうと再構築は容易ではないということを今回の新型コロナウイルス感染症対応で何度も経験しているはずです。